

五泉市村松地区出身の新潟市民らでつくる親睦会「愛宕会」の総会が2月28日、新潟市中央区のホテルで開かれた。写真Ⅱ。来年迎える40周年の記念事業として、県天然記念物に指定



古里の杉並木保全へ協力

されている慈光寺(五泉市蛭野)の杉並木を守る会に10万円を寄付することを決めた。

会は1977年に発足。これまで慈光寺の改修工事への寄付や、村松地区で雪崩から主人の命を救った「忠犬タマ公」の像

五泉・村松出身者 親睦会40周年を記念

を新潟駅に建てる募金活動などに取り組んできた。は、6代目の大鷹政章会長が「会員の絆を深めながら、ふるさと

の高齢化などで年々減少し、現在は50、60代を中心とした51人で活動。会員の募集を五泉地区出身者にも広げている。た。

総会には27人が出席。守る会が計画しているスギの延命治療の診断や、環境整備などに活用

た。

総会後に開かれた懇親会で